



HAPPY HEART 会報

NO.58 平成 21 年(2009) 5 月 10 日

発行 多摩スクエアダンスクラブ (ハッピーハート)

〒206-0822 稲城市坂浜 31783-3 中村 禮子 方

TEL&FAX : 042-331-0711 E-mail: rei-n@mtc.biglobe.ne.jp

21年度を迎えて

会長 中村 禮子

27周年のアニバーサリーも大成功のうちに、皆様楽しんでもらえるパーティーとして開催されました。初めての前夜祭、そして仙台からマック小島さんをお招きしてのアニバーサリー。私たちにとっては初めての経験や、ビッグコーラーをお迎えしたこと等、会員にはいろいろな緊張感があったことと思います。またひとつこの経験を通して、クラブとして成長できたのかなと思います。

アニバーサリーが終わるとすぐ総会、今年度またそれぞれが新しい仕事分担を担い活動が始まります。今年は思いがけず、調布カルチャーセンターから呼びかけをいただいて、スクエアダンスの講座を開くことになっています。新しいチャレンジです。このように、さまざまに私たちのクラブ活動の体験を広げていけるのも、会員の皆さんの心を一つにしての、「私たちの活動を大切にしたい」という気持ちがあるからだと思います。

『心はいつもあったかハッピーハート』、この心意気を大切に、また一年スクエアダンスを楽しんでいきましょう。

27th HAPPY HEART ANNIVERSARY (09.3/19~20)

初めての前夜祭

副会長 杉本 泰子

第27回目のアニバーサリーを開催するに当たり、今回は仙台ロードハウスのマック小島氏をゲストにお迎えしてベテランコーラーの充実した楽しいアニバーサリーにしたい、との企画から、それならば、当日だけのアニバーサリーでは会員の皆さんが充分踊れる時間が少ない、前日祭(一部)前夜祭(二部)をして楽しく踊っていただけるようにと、多摩ハッピーハート創設以来、初めての前日、前夜祭と二日間(当日含む)に亘り、開催する事になりました。

しかしながら、同一会場での踊り込みとマック小島氏によるカントリーソングも唄っていただきながら、懇親会も兼ねてお食事を楽しんでいただける会場はなく、第一会場(前日祭)は総合体育館のレクレーションルーム、そして第二会場(前夜祭)はウエルサンピア多摩と

決定しました。移動にあたり、バスがお迎えに来て下さるとの事で、移動時間も30分程度で行けるので前夜祭はウエルサンピア多摩「鳳凰の間」で行いました。

越ヶ谷ハッピーハートからは宿泊者も含み12名、川崎ハッピーハートから7名、静岡ハッピーハートから1名、フジスクエアから1名と、大勢の姉妹クラブからご参加頂き、マック小島氏の素晴らしいコールを存分に楽しんでいただいたのではないのでしょうか。

又、金子ジュニア氏の力強い、楽しい司会進行、マック小島氏との意気の合ったコールも大変素晴らしかったと思います。ただ、初めての前夜祭との事で、サンピア側とは再三に亘り充分打ち合わせをしたつもりでしたが、お料理が思いのほか少なく、皆さんの胃袋に御満足していただけなかったことと思います。担当者として、誠に申し訳なく、数々の不行き届き、不手際を心よりお詫びもうしあげます。(次ページに)

その分、マック小島氏のカントリーソングでカントリーダンスやジルバ、マンボ、ブルース等思い思いのダンスを踊っていただき、最後は皆でスクエアダンスを踊って終了しました。マック小島氏、そして会員の皆さんの暖かいご協力で盛り上げていただき、心より感謝いたします。ありがとうございました。

『初めてのアニバーサリーパーティー』

32期卒業生 松井 由紀子

当日は8時半には皆さん裏口に集合。いろいろなものが運ばれていました。9時に開くのを待って持ち場へ急ぎました。三枝さん 近藤さんに聞きながらお菓子をわけたりフルーツケーキを切ったりと何とたくさんある事でしょう。お湯の係りの方は沸くまでに時間がかかって大変でした。こんなにたくさん用意しましたが、テーブルの所に行ってみたらほとんど残ってなく、部屋に戻って班長に話をして又運ぶようでした。お茶を持って会場の2階に行ってみるとびっくりしました。あまりの美しさに感激しました。花が咲いているようです。DO SA DO に参加できなかった私は初めてパーティをみたのです。皆さんの楽しく踊っている姿に圧倒されました。1階では皆さんの衣装に興味しんしん。上にゆかたを組み合わせた方には思わず声を掛けてしまいました。最後の踊りに会場に行きましたら、声を掛けて下さった方と初めて、踊る事ができました。皆さんの生き生きした姿に幸せを感じました。

来年も是非 皆さんに楽しんで頂けるパーティにしたいです。

..... 7 回目のアニバーサリー

八束 麗子

考えてみると今回で7回のアニバーサリーを経験したことになります。あっという間にたくさん後輩を持つ身になり、月日の経つ早さを感じます。何もわからず指示通り動くのが精一杯だったビギナー時代、人の多さに圧倒され、華やかな色とりどりのコスチュームに見とれてたあの時からみれば、経験という力を得て緊張はするものの少しゆとりを持ててきたのかなーと感じたアニバーサリーでした。

今年是有名なマック小島をメインゲストに迎えて創立以来初めての“前夜祭”も行われ、前日4時からスクエアダンスは「さすがマック小島」という素晴らしいコールが続けられ、私達ダンサーを本当に楽しませて頂きました。又夕食後行われた Mac Night は魅力的な歌声と懐かしい歌の数々に魅せられた楽しい一夜でした。

533名というお客様を迎え皆様に満足して頂けるものにするには、我々一人一人が力を出し合って協力するというのが欠かせません。スクエアダンスという縁で仲間になった皆で、出せる力を合わせて協力して作り上げていくって素晴らしいことですよね。これからもいい仲間を大切に、健康に留意して楽しく感謝で送れる日々を積み上げていきたいと思っています。



「ゲストの小島正文氏と篠ヶ谷さんの共演写真です。今回コーラーさんキュアーさんは姉妹クラブより、梅津、

27th アニバサリ参加者数				
	クラブ数	参加者数	昨年参加数	
1	東京	33	260	251
2	神奈川	29	109	71
3	埼玉	9	61	46
4	山梨	2	16	27
5	静岡	4	11	17
6	千葉	7	12	6
7	長野	2	6	4
8	茨城	2	3	10
9	栃木	1	2	
10	仙台	1	2	1
11	フリー		3	8
	小計	90	485	441
	招待者		48	56
	合計		533	497
	クラブ員		42	44
	総参加者		575名	541

特別企画 多摩ハッピーハートの歩み 第2回

もう一つの姉妹クラブをご存知ですか

越谷ハッピーハート 辻田 満

現在、多摩ハッピーハートには幾つかの姉妹クラブがありますが、現在の会員の多くの皆さんはもう一つの姉妹クラブがあることをご存知ないと思います。そして、それはニュージーランドのクライストチャーチにあるハッピーハートというクラブです。その姉妹クラブ誕生のきっかけとなったのは多摩ハッピーハートが誕生して2年ほど経ったころ私が仕事でニュージーランドに出かけた折にクライストチャーチで訪ねたクラブ CATHEDAL SQUARES での出会いでした。その後、数度に渡り CATHEDAL SQUARES から日本へ会員が遊びに来られて、その度に多摩ハッピーハートではウェルカムパーティを開催しました。



そのような交流を通じて CATHEDAL SQUARES のジョフ・ヒントン氏が CATHEDAL SQUARES から独立してクラブを立ち上げたい、そしてそのクラブ名を是非ともハッピーハートとしたいと申し入れがあり多摩ハッピーハートにとって第一号の姉妹クラブ誕生となったのです。私もしばらくはクリスマスカードの交換をして交流をしていましたが、いつしかその交流も途絶えてしまいました。現在もニュージーランドのクライストチャーチにハッピーハートが活動しているか否かは定かではありませんが、もし現在も活動して



いるとすれば多摩ハッピーハートにはニュージーランドのクライストチャーチに姉妹クラブがあるのです。多摩ハッピーハートの会員の皆さんがその存在を確認し、再び日本とニュージーランドでの姉妹クラブの交流が再開するとすれば素晴らしいと思います。スクエアダンスは音楽に乗って踊る友情の踊りと言われています。多摩ハッピーハートが姉妹クラブとの繋がりをこれからも大切にしていって欲しいと願っています。(辻田さんの情報によると今もクライストチャーチでハッピーハートは活動しているそうです・広報)

第32期ビギナー卒業生 (08.12.16 卒業式)

ビギナー講習を終えて

圓谷 ヒサ子

ビギナー講習には、仕事を離れたのを機に、友人からの勧めで、思い切って参加する事にしました。

毎回の講習は、ただ覚える事で精一杯です。楽しむ余裕はありません。「あっ、すいません」の

連続です。「皆、初めはそうだったのよ。誰でもも経験して行って、上手になるんだから、気にしないでね」と、やさしい言葉に励まされ、今日に至っています。それでも、少しは覚えていかななくてはとの思いで、テキストを見返したり、ビデオを見たりして、出来るだけ復習をする様にしています。

一段一段と階段を登って行くと、 (次ページ)

楽しめる瞬間も生まれてきて、今はクラブに行く事が楽しみの一つになりつつあります。それにしても、私達ビギナーをいつも「あったかハート」で接して下さりありがとうございます。私の様な者でも続けられるのは、そのお陰と、感謝しています。

そんな中、一つの節目として、卒業式を迎える事ができました。講習には参加できない日も多かったのですが、証書をいただけたのは、ちよっと嬉しい出来事でした。今年に入り、DoSaDo パーティーにも参加させていただきました。会場の華やかな雰囲気飲み込まれつつ、なんとか過ごす事ができました。「私もあんな風に踊れるようになりたい」との思いを強く感じながらの帰宅でした。

そして次は、アニバーサリーパーティーです。私は当日のみの参加でしたが、主催者として多数のお客様をお迎えする準備は、心を一つに、ここでもクラブのスローガンでもある、あったかハートで進められていました。微力ながら、一員としてお手伝いできた事は私にとって喜びでした。

あっという間にいろいろと経験しながら、今思う事はスクエアダンスに出会えて本当に良かったと思うのです。誰かが言った言葉ですが「自分にとって、今が一番若い時、二度と今はないのだから、大切に楽しく生きたい」私もこの歳になって、この言葉を実感しています。今後は益々、楽しみになりました。歩みはゆっくり、が、長く、生活の一部になれたらいいと願っています。

「ビギナーを卒業して」

32期卒業生 杉山量良

中学の同窓同士のメールやりとりでスクエアダンスの話が出た。近藤君が興味を示し、「やってみよう」と言う。ボクはあまり興味がなかった。姉が社交ダンスをやっている社交ダンスをやりたいと思っていたからだ。でも、近藤君1人だけ参加ではつまらないだろうと、誘いに乗ることにした。

スクエアダンスは大学祭の時や静岡祭りなどで見た。コーラーによってみんなが動くのは知っていたので、素人ではできないし、覚えなきゃいけないし、簡単でないことも知っていた。でも、ダンスする人たちの楽しそうでヨーロッパ風の服装の華やかさに目を見張ったものだ。講習会に出て、まず驚いたのは「最初の一步は右足からでも左足からでもいいです。」という言葉だった。

そんないい加減なダンスでいいの？それのできるの？だった。でも、確かに踊れた。ちゃんと合わすことができた。だから、多少は調子はずれても問題無し。ボクにはちょうどいいダンスだと思った。社交ダンスはそうは行かない。右足と左足を間違えると、必ず、相手の足を踏む。「ギョッ」となるわけだ。スクエアダンスではそれが無い。歩幅にしてもそうだ。社交ダンスでは相手と歩幅を合わせないと隙間ができて次の動作がやりにくくなる。スクエアダンスではそれが無い。社交ダンスでは大きく見せるためにできるだけ大きく歩く。それがスクエアダンスでは「なるべく小さく回ってください。」と、言われる。まるで逆だ。そして「スマイル」。コールとコールの間に「スマイル！！」とコールされる。笑っていなければならない。社交ダンスでは笑っている人を見たことがない。そして、何より違うのはスクエアダンスでは競技会が無い。「アニバーサリー」がある。これがとても気に入っている。社交ダンスのように、ダンスの美しさを見せることよりも、アニバーサリーで互いを祝いあい、明るく楽しく踊ることの方が大事なのだ。だから踊っていて楽しい。自然と笑みがこぼれる。多少の失敗にはくじけず、何事もなかったように続ける。ダンスはこれに限る。

2月8日にDoSaDoを経験した。会場は色とりどり。熱気ムンムンの会場だった。天井が低い上にコーラーの音が聞きにくかったが、ダンスは楽しくやれた。そして、昼食。友人と「おにぎり」を分け合って食べたし、ネーブルが回ってきたり、漬物が回ってきたりもした。まるで、遠足の気分。記念撮影も何度もあった。卒業生合同記念撮影のときは「早めに行って席を取るのよ！」との忠告を受け、必死にがんばって席を取ったが、残念ながら、はずれの席になってしまった。DoSaDoパーティーのとき、初めてチップが崩れることを経験した。いとも簡単に崩れた。それもそうだ。だって、ベーシック習いたての人がペアで組んでいたからだ。多摩HHは連絡が行き届いていて必ずベテランがついてペアになってくれた。だから安心してやれた。それが、連絡が行き届いていないらしく、初心者同士でペアを組んでいる。(次ページ)

それじゃうまく行くわけがない。講習会の時だって、初心者同士は組んでいないのに、パーティーで初心者同士組んだってうまくいくわけがない。でも残念ながら、そんな組が何組をあって、崩れずにダンスできることは難しかった。「崩れたときはこうするんですよ。」と、教えられたが、初心者のボクにはそれは難しかった。

Do Sa Doパーティーでは多くの人に参加し、会場から人が溢れていた。こんなに多くの人がいるのかと思うと楽しくなった。うまい人。まだ、習いたての人。いろいろだ。中でもS都連副会長と言う女性から「お願いします。」と、手を取られたときはドキドキだった。だけど、残念なことにあまりうまく踊れなかった。もっと、精進しなければ、と思った。そして、指導がとてもうまい人とも踊ることができた。

ちゃんと、ダンスをアシストしてくれた上に、「あなたの癖は、ダンス開始の時に足を引くのとスイングの回り方ね。」と、厳しくも優しい指導をしてもらった。その場では修正が難しかったが、その後、クラブの戻って修正することができた。

過去、自分にとってスクエアダンスは見たことがあるだけ。フォークダンスは後は高校運動会の時にやり、大学時代にダンパン(ダンスパーティー)で恥をかかないために社交ダンスを友人から習った程度だった。だから、講習会にでもチンプンカンプン。間違えること多し、恥かくこと多しでした。でも、皆さんのおかげで楽しく、ベーシックも卒業し、MSも卒業して、いよいよ、いろいろなパーティーに出れるかと思うと期待に胸が膨らみます。



12月16日第32回ビギナー卒業式
左より、山下、森田、松井、圓谷、杉山、近藤



2月4日第58回DoSaDOパーティー
ビギナー4名、クラブ員21名参加



3月19日アニバーサリー前夜祭
Mac 小島氏にカントリーソング・アメリカンポップソングを熱唱してもらい参加者はカントリーダンス、ジルバ、ツイスト、ゴーゴーダンス等々勝手気ままに踊り狂いました。締めはMacとJrのスクエアダンスで大興奮の2時間でした。



第27回アニバーサリーの
写真(5枚)



21年度HH新役員・年間行事予定 (21年4月～22年3月末)

(総会が4月21日クラブ員数51名・総会出席38名+委任状5名+欠席8名の基、開催されました。)

1) 21年度会長・副会長・役員 (正、副)

会長	中村 禮子	
副会長	杉本 泰子	羽鳥 艶子
会計部	福島 君子	近藤真愉美
総務部	桜井 寛	長野 恭子
渉外部	畝 輝美	小林 久子
広報部	三枝 京子	又木 隆子
イベント部	初山 矩子	斉藤 和子
指導部	尾崎 多恵子	市村 慎一 金子 裕行

3) クラブ外での役割

S協企画運営委員	中村 禮子	金子 裕行
総括支部幹事	中村 禮子	杉本 泰子
日本FD連盟理事	中村 禮子	
S都連理事	中村 禮子	桜井 寛

2) 担当者会

ビギナー生	斉藤美江子	澤田真智子
スナック	中山紀美子	皆川美紀子
器具運搬	桜井 伸子	
プラス例会	斉藤 和子	星野由己子
会計監査	加藤 敏明	柳田 和子

4) クラブ行事

5月～8月	例会時にコーラーを招き「MS踊り込み」
8月25日より	ビギナー体験日 (9/1より講習)
11月1日か3日	踊り込み研修会
12月22日	ビギナー卒業式
1月6日(水)	新年会(福寿庵)
3月	第二文化センター祭り
3月22日(月)	第28回アニバーサリー

編集後記:新緑が美しい季節になりました。樹々の下を歩くと、身も心も緑に染まってしまいそうです。下を見れば、雑草という名の新芽の、なんと愛らしいこと季節が巡って、新しい気持ちにさせられるのは、ありがたいものです。原稿をお寄せ下さった方、ありがとうございました。そして、読んで下さる方々に感謝。(さ記)、会報装丁 桜井

調布カルチャーセンター講習会

5月30日(土)体験日、6-12月
第1,3土曜日実施(8月は変更)